令和2年度 群馬の小学生 英語コミュニケーションカ向上事業 西部地区小中一貫外国語(英語)教育充実事業 学力向上研究指定校委託事業

(富岡市立学校実践推進校指定・各教科等に関すること)

群馬県小学校英語部会研究協議会

西毛ブロック富岡・甘楽大会

富岡市立小野小学校 富岡市立北中学校

教育 小野小・ 北中 小中一貫外国語(英語) 全体構想

児童の実態

- ・明るく素直な児童が多い。
- ・授業や生活は真面目で積 極的に取り組める。
- ・人前で自分の考えを発表 するのが苦手である。
- 新しい人間関係をつくる ことが不得意である。

外国語(英語)教育の重点目標(小中共通)

- 1. コミュニケーション能力の育成
- 異文化や異なる文化を持つ人々を受容し、共生する態度の育成
- 3、自分の考えや意見を発信し、具体的に行動できる能力の育成

生徒の実態

- ・素直で何事にも真面目に取り組 むことができる。
- 決められたことや任されたこと に対しては責任をもって取り組 むことができる。
- ・自分の意見や考えを伝えたり、 表現することに消極的である。

目指す小学校卒業時の姿

外国人に対し物怖じせず、英 語で挨拶や自己紹介するなど、 積極的にコミュニケーションを 図ろうとする。

カリキュラム連携

- (1)目標の一貫性
- (2) 題材の系統性
- (3) 指導法の継続

目指す中学校卒業時の姿

外国人に対し、相手の立場や状況を考えな がら、積極的にコミュニケーションを図ろう とする。自国の文化やふるさとに誇りをもち、 それを英語で堂々と伝えることができる。

5. 実態調査·活用

・4技能の調査の実

・英語に対する意識

施と活用(GTEC)

調査の実施と活用

外国語(英語)教育の具体的な取組

1. CAN-DOリスト

- ・小3から中3までの CAN-DOリスト の作成
- · CAN-DOリスト を基にした授業実践
- 2. パフォーマンス評価
- ・ルーブリックを使用
 - した評価 ビデオ撮影による自
 - 己評価・相互評価

- 3. 授業参観交流
- ・小中互いの英語教 師や担任、ALT
- による授業公開
- ・保護者や地域への 授業公開

- 4. 児童·生徒交流
- ・英語による作品の 掲示
- ・英語(外国語活動)の
- 取組をビデオで視聴

他教科等との関連【教科横断的な視点】

- ・興味、関心をもたせ主体的に学べる ・思いや考えを自分の言葉で表現する
- ・ねらいを基に見通しをもって学習できる 自分ごととして振り返りができる

6. 環境整備

- ・英語校内放送や ALTと交流する
- 休み時間の設定 ・英語ルームや英語 掲示板の活用

行事等との関連【国際理解的な視点】

・英語弁論大会への全員参加

2年目の取組における課題点

児童にとっての **必要感**

1、質、量共に、
 より充実したコミュニケーション活動 ⇒ <u>積極性</u>

- 2、小中共通している授業形態や活動の確立⇒ 安心感
- 3、外国語活動の教科化における評価CAN-DOリスト、パフォーマンス評価ルーブリック評価の改良⇒ <u>指導と評価の一体化</u>

3年目の取組における実践 具体的手立て

1、より充実したコミュニケーション活動

- ■楽しく必要感のある場面設定
 - ・必要感と達成感のある単元ゴールの設定
 - ・必要感と自己決定のある言語活動の設定
 - ・単元ゴール達成のための児童自身からの提案
- ■慣れ親しませるための取組
 - ・ステップとスパイラルのある単元構想の工夫
 - ・必要な表現の繰り返し練習からの自信 (チャンツ・家庭学習)
- ■伝え合う喜びを感じさせる工夫
 - ・往復するためのリアクション意識
 - ・振り返りの中に友達の活躍を記入

具体的な取組

必要感のある単元ゴールの設定

単元ゴールの設定

本時のゴールの設定



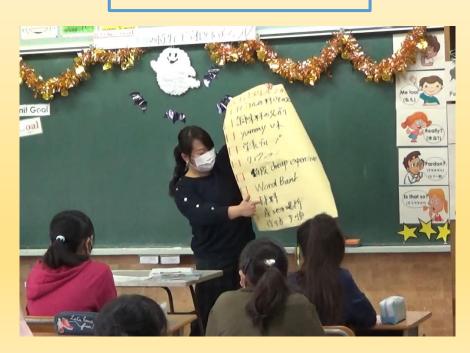


具体的な取組

必要感のある言語活動の設定

必要なフレーズを 児童自身から引き出す

言語活動の様子





単元ゴールの設定で意識したこと

●児童が必要感を感じるかどうか

●「~をするために、~のために」が重要 (はばたく群馬の指導プランⅡより)

●単元のねらいに合った設定

具体的な取組

必要感のある単元ゴール一覧作成



R2小野小ワクドキ単元ゴール一覧

Unit	Grade3	Grade 4	Grade 5	Grade 6
1		『ミクロネシアの友達に日本の小学生を 知ってもらうために、自分の好きなもの をいっぱい紹介しよう!』		『ミクロネシアの友達にプロフィール カードを作り、自己紹介のビデオレター を送ろう!』
2	『全校のために、 ジェスチャー付きの気持ちポスターを作 ろう!』	『ミクロネシアの友達に日本の小学生を 知ってもらうために、学校で遊んでいる 遊びを紹介しよう!』	『5月生まれの校長先生のためにバース デイカードを送ろう!』	『聞き手を楽しませるために宝物クイズを作り、友達と家族に自分の宝物を紹介 しよう!あわよくば・・・(笑)』
3	『ハロウィンパーティーでジャコランタ ンを数えるために、たくさん数字を使っ てゲームをしよう!』	友達に発表しよう!』	『夢に近づく時間割を作って友達に発表 し、お家の人にも頑張ること、協力して 欲しいことを伝えよう!』	『ペアで旅行会社を設立し、クラスで人 気NO1の旅行会社になろう!』
4	『ミクロネシアの友達にビデオレターを 送るために、自分の好きな色やスポーツ を言えるようにしよう I!』	『最高にぐーたらな夢の一日を作って友 達に発表しよう!』		『小学校最後の夏休みを色あせさせない ために、ポスターを作って夏休みの思い 出を発表しよう!』
5		『友達の好みをしっかりリサーチして、 好みにピッタリの筆箱をその友達に高く 売ろう!』		『全校に地球環境やフードロスを知って もらうために、給食室の前に飾る食物連 鎖ポスターを作ろう!』
6		『来年入学してくる新1年生のために、 自分の名前ポスターを大文字と小文字で かっこよく作ろう!』		『日本とミクロネシアの食材でオリジナルメニューを作り、NO1メニューを決めて、栄養士に提案しよう!』
7	『英語が書けるようになったことを家族 に驚かせるために、ありがとうカードを 英語でかっこよく作ろう!』		『日本の四季や文化を紹介するブック レットを作り、富岡市に来た外国の方に 読んでもらおう!』	『卒業式に「小学校の思い出」を飾るために、思い出アルバムを作ろう!』
8		『友達を楽しませるために、チームに分 かれて迷路ゲームをして、宝物をゲット しよう!』		『卒業式前夜に家族にありがとうを伝え るために、感謝や将来の夢を語るサンク スレターを作ろう!』
9	『新1年生のために、絵本の読み聞かせ をしてあげよう!』	『新1年生のために、絵本の読み聞かせ をわかりやすくしてあげよう!』		

取組の成果

より充実したコミュニケーション活動になったか

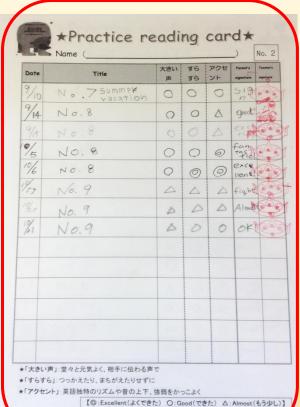
- ■楽しく必要感のある場面設定
 - ・必要感と達成感のある単元ゴールの設定
 - ・必要感と自己決定のある言語活動の設定
 - ・単元ゴール達成のための児童自身からの提案
- ○児童の期待感が高まり、身を乗り出して**単元ゴールを楽しみにする児童**が増えた。またこのことは、その後の**言語活動にしっかりつながった**
- ○「自分のことをもっと表現したい」という意識が高まり、 **自ら進んで活動する児童**が増えた
- 児童主体の取り組みとなり、表現の習得において大きな効果があった

具体的な取組

家庭学習での定着~Reading Practice~







取組の成果

より充実したコミュニケーション活動になったか

- ■慣れ親しませるための取組
 - ・ステップとスパイラルのある単元構想の工夫
 - ・必要な表現の繰り返し練習(チャンツ・家庭学習)
- ○既習事項を忘れず、自分の中に貯めて表現できるよう、単元構想の中に既習事項表現を意識して組み込むことで、場に応じた表現を選択する児童が出てきた
- ○家庭学習として、必要な表現を載せたフレーズの音読(7~8文)を 毎時間宿題に出したことで、少しずつ定着し、**自信をもって発話する** ようになった

より充実したコミュニケーション活動になったか

- ■伝え合う喜びを感じさせる工夫
 - ・往復するためのリアクション意識
 - ・振り返りの中に友達の活躍を記入
- ○以前よりもリアクションをしようという意識が芽生 えた。また、リアクションも楽しみながら、自然と 会話が続くことを実感していた
- ○自己有用感につながり、コミュニケーション活動へ の原動力となった

3年目の取組における実践 具体的手立て

- 2、小中共通している授業形態や活動の確立
 - ●小学校での既習事項想起 提示
 - ●中学校でも学ぶ共通テーマの紹介 (プレゼンテーション等)
 - ●小から中へ発展していく共通のコミュニケーション/プレゼンテーションポイント
 - ●小中共通のパフォーマンステスト
 - ●小中共通のルーブリック

3年目の取組における実践 具体的手立て

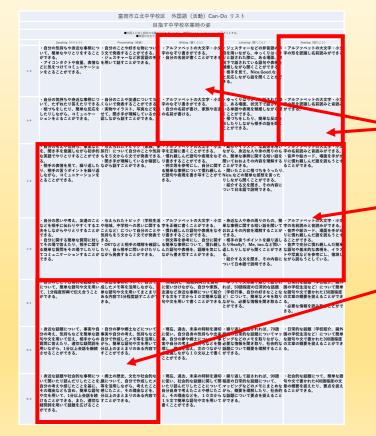
3、外国語活動の教科化における評価

- ●CAN-DOリストの見直し、活用
- ●パフォーマンス評価の見直し 実施回数の増加
- ●ルーブリック評価の見直しと 4技能に対するルーブリックポイントの改良
- ●振り返りの充実

具体的な取組

CAN-DOリストの見直し、活用

- ・学びの継続性
- ・重複の回避
- ・後退の防止



- ※3,4年の書くこと、読むこと
- ※5,6年の4技能5領域全て
- ※中1, 2, 3のやりとり、発表に 関しては、今後少しずつ変化する のでは・・・

パフォーマンス評価の見直し

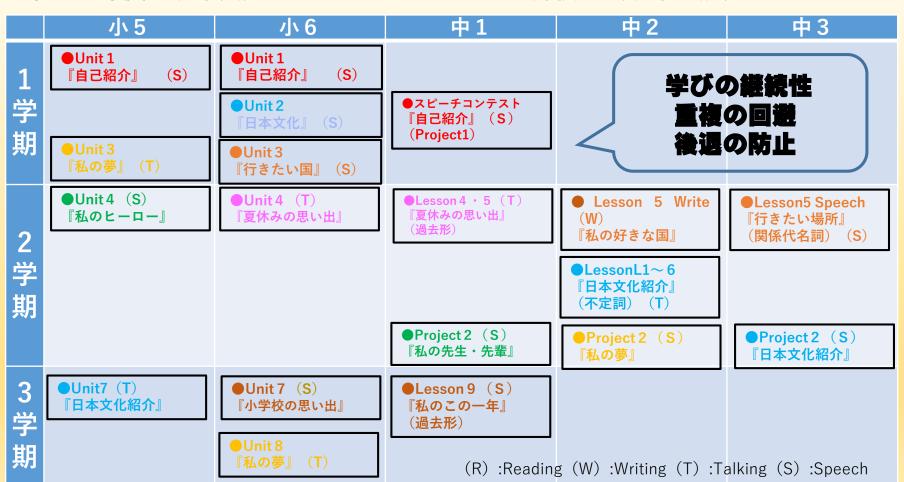
- ●単元の最初に提示
 - 「単元の最後にパフォーマンスチャレンジがあるよ!」
- ●ゴールのイメージをしっかりもたせる
- ●より必要感のもてる内容の選定
- ●帯活動「Reading Practice (音読練習)」
 - →家庭学習による定着
- ●リアクションの強化
- ●4技能のバランス(中学校)

令和2年度 パフォーマンス評価実施計画 小野小・北中連携

	小5	小6	中1	中 2	中 3
1 学 期	●Unit 1 『自己紹介』 (T) ●Unit 2 『私の誕生日』 (S) ●Unit 3 『私の時間割』 (T)	●Unit 1 『自己紹介』 (S) ●Unit 2 『自分の宝物』 (S) ●Unit 3 『行きたい国』 (T)	●Lesson1~3(T) 『絵を説明しよう』 (Be動詞/一般動詞) ●スピーチコンテスト(S) 『自己紹介』 (Project1)	●Lesson3 Read(R) 『The Ogasawara island』 (未来形) ●スピーチコンテスト(S) 『自由課題』	●Lesson2 Read (R) 『France – Then and now』 (現在完了形) ●スピーチコンテスト(S) 『自由課題』(※主張)
2 学 期	●Unit4 『私のヒーロー』(S) ●Unit 5 『私の宝物』 (T) ●Unit 6 『好きな食べ物』(S)	●Unit4 『夏休みの思い出』(S) ●Unit 5 『食物連鎖』 (T) ●Unit 6 『オリジナルメニュー』 (S)	●Lesson 4 · 5 (T) 『夏休みの思い出』 (過去形) 『夢のFamily Tree』 (疑問詞/代名詞) ●Lesson 6 · 7 (T) 『パラリンピック』 (三単現/can) ●Project 2 (S) (W) 『私の先生・先輩』	●Lesson 5 Write(W) 『私の好きな国』 (動名詞 There is) ●LessonL1~6(T) 『日本文化紹介』 (不定詞) ●Project 2(S) 『私の夢』	●Lesson5 Speech (S) 『行きたい場所』 (関係代名詞) ● Lesson 1 ~ 6 (T) (W) 『世界の出来事』 (現在完了形 関係代名詞) ● Project 2 (S) 『日本文化紹介』
3 学 期	●Unit 7 『日本文化』 (T) ●Unit 8 『世界のヒーロー』 (T)	●Unit 7 『小学校の思い出』(S) ●Unit 8 『感謝すること』(T)	●Lesson 8 ~ 9 (T) 『写真を説明しよう』 (現在進行形) ●Lesson 9 (S) 『私のこの一年』 (過去形) ●Project 3 (S) 『私の大切なもの』	●Lesson 7 ~ 8 (T) 『調査プレゼンテーション』 (比較/受け身) ●Project 3 (S) 『私の町』	●『2分Free Talk』 (T) ●Project3(T) 『ディスカッション』

(R) :Reading (W) :Writing (T) :Talking (S) :Speech

令和2年度 小中共通テーマのパフォーマンス評価 (小中連携)



ルーブリック

評

価

項

目

●ルーブリック (Rubric) とは、学習到達度を示す評価基準を観点と尺度からなる表として示したものである。

評価点

	3	2	1
人 (知識・技能)	A 3	A 2	A1
B (思・判・表)	В3	B 2	B1
C (主体的態度)	C 3	C 2	C1

評価基準

【活用方法】

- ●課題を解決するための 目標の共有
- ●児童・生徒間の相互評 価及び単元終了時の児 童・生徒の理解把握
- ●ビデオ録画による、複数教員での評価
- ●評価項目を再確認し、 次回の目標を設定
- ●PCDAサイクルによる 評価方法の改善

●昨年度 ルーブリック (小6)





①contents 内容	②attitude コミュニケーション ポイント	③Answer the question 質問への答え方	④extra point ボーナスポイント	Total 合計
/4	/3	/3		

Teacher's comment

• 1	Rubric(得点基準)			
点	①内容	②態度	③質問への答え方	④加点
4	相手にわかりやすく英文 で伝え、「How about you?」と聞き返せる			①一所懸命、 とっても楽 しそうに会 話を続けよ
3	相手に英文でわかりやす く伝えられる	自 分 の 設 定 し た Communication Point が 達成できている		され う! 1 2 自分でき
2	伝わらない内容やはっき りしない語がある	Communication Point を 意識しながらもただ読み 上げている 声が小さい	単語で答える	たよ! ※1単語・ 1英文につき+1点
1	はっきりしない語がいく つかある	Communication Pointの 意識が少し足らず、聞き 取りにくい 声が聞こえない	答えられない	Nice to meet you I Nice to meet you foo;

●今年度 ルーブリック (小6)



G 6 Unit 2 Talking Challenge Rubric チャレンジトーキング評価シート



Name

評価項目	練習評価 3 P・2 P・ 1 P	本番評価 3 P・2 P・ 1 P	先生評価 3P・2P・ 1P	•
Score 3 P:文で堂々とはっきり答えられる。 2 P:文で答えられる。 1 P:単語で答えられる。				
①相手に届く声、笑顔、アイコンタクト、堂々さ。 ②住んでいる場所について伝えられる。				
③何時に寝るかについて伝えられる。				
④日曜日何をしているか伝えられる。				
⑤自分の宝物について伝えられる。 ★⑥Extra Point どんなリアクション、クエスチョンを用意しておく? ★聞き返す質問や相手がうれしくなるリアクションを考え てみよう!+5P×3				_
0				
0				
〜 振り返り(①から③について具体的に書こう。どんどん成:	長する自分を想	想像しよう!)		
①どんな風に練習できたかな?		4		-
②どこを特に頑張ったかな?				
③次はどんなことにチャレンジしたいかな?				
Total Score Teacher's comment				
£600)				

※練習→本番→先生評価と 一自分の変容がわかるように

-※スコアは3点から1点

※ルーブリックポイントは5つ

※内容は1行シンプル

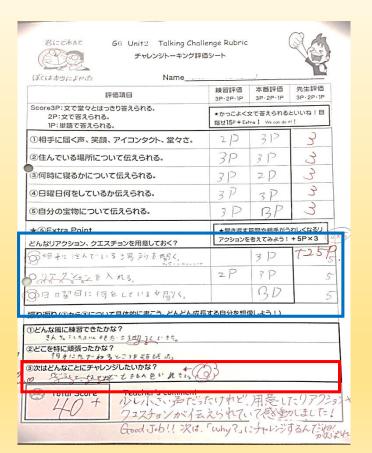
・より具体的なフレーズ・態度・リアクション

※具体的なリアクションを 自分で設定

※次のステップへ行くための より具体的な質問

※評価を数値化 コメント

チャレンジトーキング後の児童の振り返り





G5 Unit2 Talking Challenge Rubric チャレンジトーキング評価シート



評価項目	練習評価 3P·2P·1P	本番評価 3P·2P·1P	先生評価 3P·2P·1P
Score3P:文で堂々とはっきり答えられる。 2P:文で答えられる。 1P:単語で答えられる。		文で答えられる tra We con do r	
①相手に届く声、笑顔、アイコンタクト、堂々さ。	2 P	2P	3
②誕生日月について伝えられる。	3 P	2P	3
③誕生日について伝えられる。	2P	2 P	3
④誕生日について相手にたずねることができる。	2P	2P	3
⑥欲しい誕生にブレゼントを伝えられる。	2P	3P	3
★ ⑥ Extra Point	★開き返す	質問や相手がう	わしくなるリ
どんなリアクション、クエスチョンを用意しておく?	アクションを	考えてみよう!	+5P×3
Isee. Metou. Really	3P	2P	+35,
ひとんなプレセントかほいかを知ばなせる	2 P	2P	5
Do you like 00?	21	3 P	5

①とんな圏に練習できたかな? 本番のように、大きな声などを意語なして練習できた。 ②とこを特に頑張ったかな? リラクシーや 声の太キナ 笑み直を 行真 に ナー ③次はどんなことにチャレンジしたいかな? ・サントリンジーないかな?

50 +

Teacher's comment

療の表すがとっても豊かで、楽しい言庭生日をもが えたのがよく伝わてきまでい。イントネーションがすばらい! T=くさんのQもありがもう。ノリーンえ生がおどか、でまして

チャレンジトーキング後の児童の振り返り

★⑥Extra Point	★聞き返す質問や相手がうれしくなるリ				
どんなリアクション、クエスチョンを用意しておく?	////	257.6000			
の相手に性人でいるは男声がを聞く。		317	725%		
PUZZ 2 2 × N3.	2 P	3 P	5		
○日日聖日1:何色Lでいるか問人。		30	5		
振り返り(①から③について具体的に書こう。どんどん成長 ①どんな風に練習できたかな?	見する自分を 想	「像しよう!)			
さんちょうくたみいんも色たった3日月3とできた。					
②どこを特に頑張ったかな? すりまにたすいわるところを元質を表った。					
③次はどんなことにチャレンジしたいかな?	2				

★⑥Extra Point	★聞き返す質問や相手がうれしくなるリ イ×				
どんなリアクション、クエスチョンを用意しておく?	アクション	を考えてみよう!	+5PX3		
OIsee. Me too. Really	3 P	2P	+35P		
つとんなプレセントかほいかをわばなせ	n): 2 P	2P	5		
O Do you like 00?	2	3 P	5		
振り返り(①から③について具体的に書こう。 どんどん成	長する自分を想	!像しよう!)			
3次はどんなことにチャレンジしたいかな?	顔を元	原張、1			
FINIL 2 to == to to to	7 1/11-	リアクションや声の大きさ、笑顔を頂張した。 13次はどんなことにチャレンシしたいかな?			

- 〇リアクションへの意識が高まった
- 〇即興的な会話に対応しようとする 力がついた
- ○次への課題が明確になった
- 〇児童自らが課題解決をしようと する手立てになった

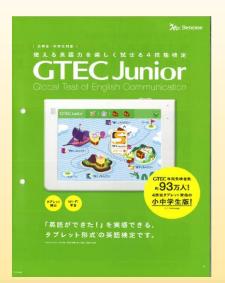
パフォーマンス評価おける ルーブリックを使った効果

- ○観点別に評価項目を設定し**数値化**することで、感覚ではなく、また、観察だけに頼らない**評価がしやすく**なった
- ○CAN-DOリストを意識しながら、授業を展開するようになった
- ○児童生徒自身の**目標設定が明確**になり、入れたい表現や リアクションを**自分自身で工夫**しながら**熱心に取り組む** ようになった
- ○自分自身を表現するために、既習事項以外の語句や表現 を知りたい!という気持ちが芽生え、色々な語句や表現 に興味をもつようになった

実態調査での結果から

○英語4技能検定 6年→GTEC•Jr. 中2→GTEC







全体の取り組み・実態調査からの3年目の課題

- ▲教科書内容と単元ゴールとのすりあわせ(時間)
- ▲「話す・聞く」から「読む・書く」への抵抗感
- ▲評価されることで起こる劣等感
- ▲評価のずれ
- ▲英語専科ではない担任の先生のための環境整備
- ▲英語教育格差

3年目の課題への手立て

- ▲教科書内容と単元ゴールとのすりあわせ(時間)
- ★単元ゴール活動確保のための教科書アクティビティーの精査
- ▲「話す・聞く」から「読む・書く」への抵抗感
- ★「読む」「書く」の技能に対する手立ての工夫
- ▲評価されることで起こる劣等感
- ★テストの精査 評価の見直し
- ▲評価のずれ
- ★ルーブリック評価・パフォーマンス評価方法の改善
- ▲英語専科ではない担任の先生のための環境整備
- ★使いやすい授業プラン作成の資料整理・環境提供
- ▲英語教育格差
- ★特別支援的手立て⇔外部試験(英検等)への情報提供

まとめ 3年間の取組を通して

- 〇コミュニケーション活動の充実により、児童が思って いることや考えていることを自分の言葉で表現できる ようになってきた
- 〇パフォーマンス評価を数値化することにより、児童が 目標を持って取り組み、指導者も評価しやすいものに なってきた
- OCAN-DOリストに基づく指導を行うことで、学びの継続性、重複の回避、後退の防止につながった

「英語がすき!」という思いと グローバル化の時代を自ら切り拓く力を育んで 大人になってほしい・・・

